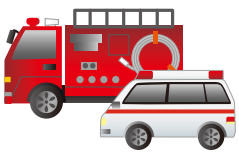
市民の生命、財産を守る 消防・救急隊

ドクターヘリは医療機器や医薬品を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、専門の医師などが搭乗し、現地で患者の治療を行い、いち早く医療機関へ搬送します。市内にはドクターヘリの臨時離着陸場が、学校のグラウンドや公園など 28 カ所確保されています。

火災、救急、災害など 24時間体制で対応



指宿南九州消防組合は、本部を指宿市に置き、1署4分遣所で組織され、指宿市・南九州市を管轄しています。

消防組合の総職員数は136人で、南九州市には3分遣所があり、知覧分遣所21人・頴娃分遣所21人・川辺分遣所19人の合計61人です。勤務体制は、各分遣所長が毎日勤務、その他の隊員は各分遣所において、5～7人が24時間交代で隔日勤務です。通常、消防隊2～3人、救急隊3人、通信員1人が活動しています。知覧・川辺地域は知覧分遣所で、頴娃地域は頴娃分遣所で119番通報を受けています。

市民からの 119 番通報を 24 時間対応します。

消防・救急隊員は火災を予防、警戒、鎮圧し、市民の生命、身体および財産を保護し、災害時の被害を最小限に食い止めます。

また、火災、災害などによる傷病者や急病人、交通事故などのけが人に対し、必要な処置を行い病院へ搬送します。市民の生命、財産を守るため24時間体制で対応しています。その他にも全国火災予防運動などの予防啓発活動、防火対象物や危険物施設の査察・消防検査、また、自治会や学校、事業所などに対して消防訓練指導、救急訓練指導、地理水利調査や危険箇所調査などの警防調査も行っています。

市内の救急出動件数
（平成 25 年 1 月～ 12 月）

頴娃分遣所	450 件
知覧分遣所	475 件
川辺分遣所	698 件
計	1,623 件

救急車には医師の指示のもと、特定医療行為（気管挿管、静脈路確保、薬剤投与など）を行うことができる救急救命士が同乗しています。専門的な活動ができるようになり、救命率が上がることが期待されています。

救急車には人工呼吸器や除細動器（AED）などが装備されています。

～救える命を救うために～

救急車の適正利用にご協力をお願いします！

最近、全国でも問題視されていますが、軽い症状でも救急車を利用する人がいます。

これは、事故による大ケガの人や、心筋梗塞などで緊急に病院などへ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせることになります。救急車は、台数に限りがあります。119番通報する前に、救急車が必要か自家用車やタクシーなどを利用できないか考えてみてください。

ただし、命にかかわる病気やケガで緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず119番通報してください。救急車を本当に必要とする人のために、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ご存知ですか？
ひまわり安心カプセル
（緊急連絡セット）

１人暮らしの高齢者や障害のある方、健康に不安のある方が、救急活動時に必要な情報を冷蔵庫に保管し、救急車をお願いした際あるいは万が一の時など、カードに記入した情報が救急活動などに活用されます。「ひまわり安心カード」に氏名、生年月日、血液型、家族への連絡先、かかりつけの医療機関などを記入し、プラスチック製の容器に入れて冷蔵庫に保管し、家の玄関の内側にステッカーおよび冷蔵庫の外側にマグネットシールを貼って、カプセルがあることをお知らせしておきます。

※知り得た情報は「見守り活動、消防、防災といった安心生活のため」に活用するもので、それ以外の目的に使用することはありません。また、事業関係者は活用にあたっては「個人情報の取り扱い」のマナーに基づいて取り扱います。

ぜひ、対象者の方で申請されていない方は市内の社会福祉協議会および市役所福祉課にお申し込みください。

～感謝の声～

知覧町　郡　折田久夫さん

昨年の10月でした。午後3時を過ぎたころ、急に胸がバクバクしだしました。このようなことは初めてだったので、家族が分遣所へ連絡し救急車をお願いしました。

駆けつけた救急隊員が脈や血圧などを観察後ドクターヘリをお願いしていました。その後、離着陸場所の知覧平和公園多目的球場に向かい到着を待ちました。ドクターヘリ到着後、鹿児島市立病院へ搬送され診察を受けました。ドクターヘリでの搬送は大変早かったです。家族も車で駆けつけましたが、交通渋滞のため病院に着くまで時間がかかり心配したようです。

今回は大事にはいたりませんでしたが、突然の心臓発作で私自身どうなるものかと思いました。救急隊員が迅速に対応していただき本当にありがたかったです。

いかなる事態にも対応できるよう日々訓練

- 出動訓練……火災・救急・救助・その他の災害事案に対して、迅速に対応し出動できるよう行います。
- 火災防御訓練…あらゆる火災を想定して、さまざまな戦術で消火作業・延焼防止を行い、火災を防御するため行います。
- 救助訓練……いろいろな救助事案を想定して、救助資機材を使い、人命救助のため行います。
- 救急訓練……急病人や交通事故などでの負傷者などに対する処置を救急資機材を使って行います。

土のう積み訓練

油圧カッターでの車両事故救助訓練

引き揚げ救助訓練

気管挿管訓練

ほふく救出訓練

最新の消火装置が装備された水槽付消防ポンプ自動車

～１月から川辺分遣所に配置～

この車には圧縮空気泡消火装置が装備されており、この装置は水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させるもので、水の表面積を広げることで効率よく消火することができます。また、救助資機材も積載しています。

～憧れの消防士になって～

知覧分遣所
梅橋 知弘 消防士

こんにちは、知覧分遣所の梅橋です。幼い時テレビで観た救助隊員の姿に憧れて消防という職業を目指し、その職に就いてから５年が過ぎようとしています。初出動の車内で緊張のあまり足が震えたのを今でも覚えています。

消防の仕事は現場出動以外にも避難訓練指導や立入検査などいろいろとあり大変ですが、救急搬送した方や関係者からの「ありがとう」の一言や子どもたちからの「かっこいい」「ぼくも消防士になる」などの言葉を聞くと、改めて消防士になって良かったと思うとともに消防の仕事にやりがいを感じます。

まだまだ小さい頃憧れていた消防士の姿には程遠いですが、市民の皆さんに信頼していただける消防士になれるようこれからも日々努力していきたいと思います。

火災発生時の対処の仕方

初期消火の段階を超えてしまうと、自分たちだけでの消火は大変危険です。決して無理をしないことが大切です。

① 周　知
「火事だ」と大声を出し、周囲に知らせて援助を求めましょう。

② 119 番通報
119 番通報する時は慌てず落ち着いて正確に状況を伝えてください。
- まず火災であることを伝える。
- どこで？（場所を伝える）
- 何が？（建物が燃えている、木造なのか、アパートなのかなど伝える）
- けが人や逃げ遅れの有無、人数を伝える。
- 自分の名前と電話番号を伝える。

③ 初期消火
一般的に出火から 3 分以内に天井に火が移り、初期消火のレベルを超えてしまいます。出火から 1 ～ 2 分が初期消火の限度です。水道水や消火器などを使って、できるだけ被害を最小限に抑えることが必要です。

④ 避　難
出火から一棟火災になるまで約 10 分と言われています。天井に火が移ったら無理をせず、すみやかに避難し、絶対に戻らないようにしましょう。避難の際は姿勢を低くし、ハンカチなどで口を押さえながら脱出しましょう。

⑤ 消防隊到着
消防隊到着後は、必要な情報をすみやかに伝え、安全な場所へ移動し、消防隊の指示に従ってください。

◎ 消火器の設置
初期消火は火災初期に行う消火活動で一番重要な役割です。火災を発見した人が初期消火をすることは義務です。小さな火のうちに消火することが人命、財産を守る上で大切ですので無理のない範囲で初期消火を行ってください。

初期消火と言っても水道水やぬれタオル、火を叩いて消すなどいろいろな方法がありますが、一番身近で有効なものが消火器です。

消火器には粉末消火器や水消火器、強化液消火器、二酸化炭素消火器などいろいろ種類や大きさがありますが、一般的にＡＢＣ粉末消火器が使用されています。

ＡＢＣ粉末消火器の使用方法は、まずレバー上部の黄色のピンを抜き、次にゴムホースを持ち、黒いレバーを握ることで出てくる粉末を火元へかけ、空気を遮断することで消火することができます。初期消火の有効な手段として、家庭に1台は消火器の設置をお願いします。

火災を防ぐ８つのポイント　～分かっていても、もう一度確認～

① コンロ
- 天ぷら鍋に火をつけたらその場を離れない。
- コンロの周りに燃えそうなものを置かない。

② たばこ
- 寝たばこや投げ捨ては厳禁。
- 決められた場所以外でたばこを吸わない。
- 灰皿は大きめのものを用意し、常に水を入れておく。

③ たき火
- 風の強い時にたき火をしない。
- 火をつけたら消すまでその場から離れない。
- 水バケツなどを準備し、終わったら必ず火が消えたことを確かめる。

④ 放　火
- 家の周囲に燃えやすいものを置かない。
- ゴミは収集日の朝、指定された場所に出す。
- 車庫、物置などの戸締りをする。

⑤ 火遊び
- マッチやライターを子どもに持たせない。
- 子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない。
- 花火をする時は大人が必ず付き添う。

⑥ 配　線
- たこ足配線をやめ正しく使う。
- 傷んだコードはすぐに修理、交換する。
- 電気器具は取扱説明書などをよく読み正しく使う。

⑦ ストーブ
- 近くに燃えやすいものを置かない。
- ストーブで洗濯物を乾かさない。
- 灯油タンクの栓はしっかり閉める。

⑧ 火元確認
- 就寝前、外出前には必ず火元確認を行う。
- 火元確認時は、１カ所ずつ指差ししながら「ガスの元栓よし」などと声を出して点検しましょう。
- 点検項目を書いたメモを壁に貼って、それを見ながら確認するのも効果的です。

市内の火災件数（平成 25 年 1 月～ 12 月）

	頴娃地域	知覧地域	川辺地域	計
建物火災	２件	４件	１件	７件
林野火災	１件	２件	２件	５件
その他火災	３件	２件	３件	８件
計	６件	８件	６件	20 件